生徒及び保護者 様

高知県立嶺北高等学校長

学校及び家庭における「新しい生活様式」について(ご協力のお願い)

夏至の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、本校が取り 組んでおります新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に、ご理解、ご協力をいただきまして 心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症について長期的な対応が求められる中、文部科学省は「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル~「学校の新しい生活様式」~」(令和2年5月22日、現在「6月16日Ver. 2」)において、「学校の臨時休業中においても子供の感染事例は一定数生じており、その多くは家庭内での感染と言われています。学校内での感染拡大を防ぐためには、何よりも外からウイルスを持ち込まないことが重要であり、このためには各家庭の協力が不可欠です。」とし、学校内での感染拡大防止のためには、家庭と学校との連携が必要であるとの考えがあらためて示されております。

つきましては、新型コロナウイルス感染症から生徒を守り、生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるよう、ご家庭におきましても、添付しました資料1・2を参考にしていただき、「新しい生活様式」を実践していただきますようお願いいたします。

また、本校で実践しております『学校再開後の周知事項(5/25以降)』を改めて、7月1日(水) 以降は、別紙教室掲示用『嶺北高校における新しい生活様式とルール(7/1以降)』を学校生活に適 用してまいりますので、何卒ご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

教室掲示用

嶺北高校における新しい生活様式とルール(7/1 以降)

3つの基本ルール

- ◆「身体的距離の確保」◆ 人との間隔は、2 m (最低 1 m) 空ける
- ◆「マスクの着用」◆屋内の授業や人と会話するときは、マスクを着用する
- ◆「手洗い・うがい」◆ 休み時間・昼休み・部活動前後には、水と石鹸で手を洗う

1 検温と記録

- (1) 朝登校前に自宅で検温する (体温や体調を確認する) ※熱や咳等の風邪の症状がある場合は、自宅にとどまり学校に連絡する
- (2) 自宅から体温計を持参する (給食前・部活動前の検温+必要に応じて検温する)
- (3)健康観察の流れ

自 宅: 朝の検温と記録(今未来手帳) → 症状がない場合は登校

登校時: SHで自宅での検温結果を報告 → 正副担任で確認・記録

給食前: 給食生徒は<u>教室等で検温・記録(今未来手帳)</u> → ランチルーム入室

部活前: 部活動前に検温・記録(今未来手帳) → 顧問に報告・記録

帰宅後: 夕食後や入浴後の時間帯を避けて検温・記録(今未来手帳)

2 健康管理

- (1) マスクや体温計を忘れたとき ⇒ 職員室(生徒指導部)に申し出る
- (2) 体調が悪くなったとき⇒職員室の教員又は授業担当者に申し出る⇒保健室での休養許可

3 授業

- (1)換気: 屋内の授業では、30分に1回以上、数分間、2方向の窓を全開して換気する。
- (2)座席: 自分の座席のみ使う。配席間隔(2m以上)をとる。
- (3)屋内授業 ⇒ マスク着用
- (4)屋外授業(体育や農業実習など) ⇒ マスクは外す
- (5) 屋内授業でエアコンを使用する場合 ⇒ 上記の「(1) 換気」のルールを適用する

4 休み時間・昼休み

- (1) 休み時間や昼休みには、窓を開放して換気する
- (2) 昼食を食べるとき ⇒ 人との間隔を 1~2m空け、自分の机・椅子を使う
- (3) 気分転換するとき ⇒ 屋外に出てマスクを外す
- (4) 手洗い・うがい ⇒ ルーティンとして必ず行う

5 給食

検温と事前事後の手洗い・うがい ⇒ これまで同様、ルーティンとして必ず行う

6 校内での移動や通学

- (1) 校内で移動するとき ⇒ 廊下は左側通行・縦列で移動し、並列歩行を避ける
- (2) 通学するとき ⇒ できるだけマスクを着用するただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合は、マスクを外す

7 清掃・掃除

- (1)清掃:月・水・金のみ清掃を行う。火・木は6限終了後すぐSHを行う。
- (2) 消毒:ホーム教室/廊下、階段、閲覧室、選択 C/D、芸術(音/美/書)、理科(物/化/生) パソコン・商業室、被服・調理、図書館、武道場(第2ランチルーム)、体育館
- ★ ホーム教室・廊下/階段: 清掃/SH時に、教卓やドアノブ、階段手すり等を消毒
- ★ 閲覧室/選C·D/芸術/理科/PC·商業/被服·調理: 清掃時や使用後に、教卓やドアノブ等を消毒
- ★ 武 道 場 (第 2 ランチルーム): 給食後に、テーブル等を消毒

8 部活動・同好会

- (1) 検温の報告 ⇒ これまで同様、ルーティンとして活動前に必ず行う
- (2) 『県立学校の部活動再開(令和2年5月25日以降)について』を厳守して行う
- (3) 手洗い・うがい ⇒ ルーティンとして活動前後に必ず行う

9 家庭との連携

- (1) 全体窓口は教頭とし、保護者への連絡はクラス担任・副担任が行う。
- (2) 自宅等で生徒が熱や咳等、風邪の症状が出た場合は、自宅を出ないことを要請し、学校 対応の説明・確認をしたうえで、定期的な症状の報告をお願いする。
- (3) 学校で症状が出た場合は、自宅休養の指導を行う。一人で帰宅するか、保護者等にお迎えをしていただくかの判断は、生徒本人と保護者に電話等で相談して決めてもらう。 ※保護者お迎えは、遅くても5時までの来校をお願いする。生徒は保健室で待機する。

保護者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症対策

~ 「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組~

新型コロナウイルス感染症から子供たちを守り、お子様が安心・安全な学校生活を送ることが出来るよう、ご家庭においても「新しい生活様式」を踏まえた取組にご協力をお願いします。

1 毎日の健康観察

- 毎日、登校前にお子様の健康観察(発熱や風邪症状の有無の確認)を必ず行う。
- ・発熱等の症状がある場合は、自宅で休養させる。
- ・ 感染がまん延している地域は、学校からの依頼に基づき、同居のご家族に発熱等の風邪症状がみられる場合には、登校を控える。

2 手洗いの励行

- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
- ・手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。

(手指消毒薬の使用も可)



3 咳エチケットの徹底

・咳、くしゃみをする際、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる。

4 3密の回避(密閉、密集、密接)

人と集まる時や外出する際は、次のことに気を付けてください。

- ○「密閉」の回避
 - こまめな換気

気候上可能な限り常時行い、困難な場合はこまめに(30分に1回以上、数分程度、窓を全開する)、2方向の窓を同時に開けて行う。

〇 [密集]の回避

・身体的距離の確保

飛沫感染を防ぐため、できるだけ人と人との距離を確保すること。

○「密接」の回避

マスクの着用

外出する時は、できるだけマスクを着用する。 ただし、気温や湿度が高く、気分が悪い場合や、熱中症になりそうな場合には、マスクを外す。

室内でも家族以外の人と交流する際はマスクを着用する。



5 抵抗力を高める

免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がける。

★ 学校生活の中でいかに感染防止を徹底しても、仲の良い友人同士の家庭間の行き来や家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動が出来なくなってしまうことがあります。特に会食の際には、対面を避けるなど、「新しい生活様式」を参考にして工夫していただき、感染が広がらないようにご配慮をお願いします。



ティッシュ・ハンカチで ロ・鼻を覆う 袖でロ・鼻を覆う

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020年5月4日)から抜粋

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 口人との間隔は、<u>できるだけ2m(最低1m)</u>空ける。
- 口遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 口会話をする際は、可能な限り<u>真正面を避ける</u>。 口外出時、屋内にいるときや会話をするときは、<u>症状がなくてもマスク</u>を着用
- 口家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 口手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 口感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 口帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 口発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 口地域の感染状況に注意する。

(2)日常生活を営む上での基本的生活様式

- 口まめに手洗い・手指消毒 口咳エチケットの徹底 口こまめに換気
- □ 「3密」の回避(密集 口身体的距離の確保
- □ 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養















密接回過

密閉回避

咳エチケット

手洗い

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 口通販も利用
- ロ1人または少人数ですいた時間に
- 口電子決済の利用
- 口計画をたてて素早く済ます
- ロサンブルなど展示品への接触は控えめに
- ロレジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 口公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 口筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ロジョギングは少人数で ロすれ違うときは距離をとるマナー ロ予約制を利用してゆったりと
- 口狭い部屋での長居は無用
- 口歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 口会話は控えめに
- 口混んでいる時間帯は避けて
- 口徒歩や自転車利用も併用する

- 口持ち帰りや出前、デリバリーも
- 口屋外空間で気持ちよく
- 口大皿は避けて、料理は個々に
- 口対面ではなく横並びで座ろう
- 口料理に集中、おしゃべりは控えめに
- 口お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 口多人数での会食は避けて
- 口発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- ロテレワークやローテーション勤務 ロ時差通勤でゆったりと ロオフィスはひろびろと
- 口会議はオンライン 口名刺交換はオンライン 口対面での打合せは換気とマスク
- ※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、別途、関係団体が順次作成している。